

DXに関する当社の取り組み

代表メッセージ

共和観光株式会社は、昨今のデジタル化や社会環境の急激な変化に迅速かつ柔軟に対応すべく、2025年5月より「DX統括本部」を新設いたしました。

本部を中心に、デジタル人材の育成、ITツールの導入促進、現場における業務改善の支援体制を構築し、全社的なデジタルトランスフォーメーションを本格的に推進してまいります。AIによる予測モデルやCRMの活用などを通じて、業務の効率化とサービス品質の向上を両立させるとともに、DXを担う人材の採用・育成や、行動と成果を適切に評価する制度の整備にも取り組んでまいります。

今後も、お客様に選ばれ続ける企業であるために、社員一人ひとりが変化を恐れず前向きに挑戦できる風土を築き、デジタルと人の力を融合させた新しい価値の創出に努めてまいります。

共和観光株式会社
代表取締役 江本日東

DX化を推進するサイクルを確立

当社のDX戦略は、全社的な情報活用によって業務改革を推進し、継続的に改善が行われる仕組みを構築していきます。

具体的には、DX化を持続的に推進するために、「可視化」「分析」「施策」「評価」の4ステップからなる改善サイクルを確立していきます。まず、新しいツールを活用して業務や顧客の状況を可視化し、次にAI等の予測と照らし合わせて課題を分析します。その上で、データに基づいた施策を現場で実行し、効果を検証・評価することで、次の改善につなげる仕組みです。この循環型のプロセスにより、勘や経験に頼らず、再現性のあるDX推進を全社的に実現してまいります。



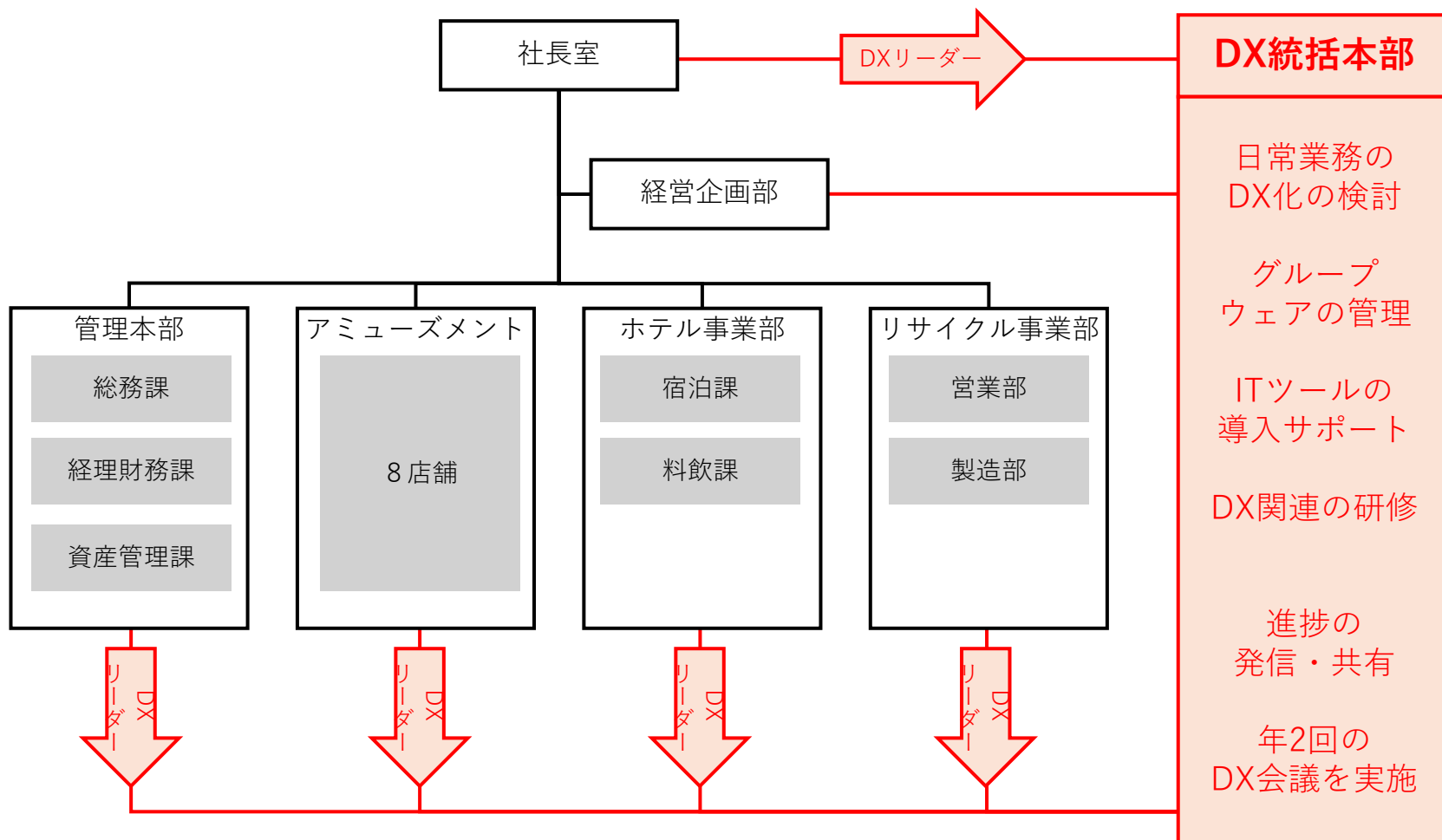
DX推進のための具体的な取り組み

当社ではDX推進の一環として、営業データや外的要因を学習するAI予測モデルの導入による予算策定の高度化と、CRMシステムを活用した顧客情報の一元管理による接客品質の向上を進めており、業務の効率化、収益性の改善、顧客満足度の向上を同時に実現する体制を構築していきます。

事業部	DX推進の取り組み	具体的な取り組み内容
アミューズメント事業部	遊技業界におけるDX推進の一環として、営業データに基づく AI予測モデルの導入 を進めています。売上・稼働・粗利に加え、イベント履歴や天候などの外的因子をAIに学習させることで、 適正粗利や売上の予測精度を高めるツール の開発に着手します。 従来店長や室長の経験や勘に頼っていた 予算策定業務を支援 するものです。これにより、 業務工数の削減 に加え、 数値に基づく施策立案や改善サイクルの合理化 が進みます。	・売上、粗利データ、イベント履歴、天候、商圈情報などを収集、統合 ・BIツールを活用し、現場、本部双方での可視化を実現 ・営業会議でAI予測値と人間判断の差異を比較・検証
ホテル事業部	宿泊業の収益性を高めるうえで重要となる レベニューマネジメント については、 AIを活用したダイナミックプライシングの導入 を実施します。宿泊実績、天候、地域イベント、需要傾向などのデータをAIに学習させることで、 最適な価格を日々自動算出 します。 需要に応じた価格変動型の料金戦略を実現して、感覚に頼らない 再現性のある価格判断 ができる仕組みを構築します。	・宿泊データの整理して、イベント履歴、天候、商圈情報などを収集、と稼働率等の傾向を体系的に整理 ・収集したデータに基づいてAIによるダイナミックプライシングを実証 ・販売チャネルの価格統一OTAと直販サイトで価格の整合性を保つ体制を構築
ホテル事業部	サービス品質向上とリピーター獲得の強化に向けて、 CRMシステムの導入 を計画しています。顧客の予約履歴や滞在中の 要望などを一元的に管理 することで、 パーソナライズされたサービス提供 や接客の質向上を実現することを目指しています。 加えて、来訪タイミングに応じた 自動フォローメール配信 、顧客属性に応じた特別プランのレコメンド等の機能の活用を検討しています。	・顧客情報の統合管理予約・宿泊データをCRMに集約し活用基盤を整備 ・PMSとの連携設計CRMとPMS間のデータ連携仕様を設計 ・顧客セグメント化属性や行動データに基づき、顧客を分類

DX推進体制

DX推進を強化するため2025年5月より「DX統括本部」を発足し、デジタル人材育成・IT導入促進・ITツールの活用サポートを推進します。各拠点には「DXリーダー」を配置し、現場起点での改善提案と意思決定支援の体制を整備しています。



DX人材育成・確保について

また、デジタル人材の育成・確保については、以下の取り組みを行います。これにより、IT導入の推進役となる人材を社内で育成・確保し、自律的なデジタル変革が進められる体制を構築していきます。

取り組み内容	施策アイデア	補足
現場社員のデジタル知識、業務改善スキルを底上げ	・DX基礎研修の定期開催 ・業務改善ワークショップの実施	若手・中堅層を中心に対象拡大予定 研修受講履歴を社内で可視化
即戦力となる外部人材の計画的採用	・デジタル領域経験者向けの求人強化 ・副業、業務委託での柔軟な受入体制	地方企業の特性上、リモート前提や短期契約など柔軟な制度を検討中
DX推進の行動と成果を適切に評価	・DX貢献度を加味した人事考課項目の新設 ・部門横断でのプロジェクト評価	導入初期は試行的に運用し、フィードバックを通じて制度整備

DX化の達成状況を図る指標

DXの推進状況を可視化するため、それぞれの取り組みごとに定量的・定性的なKPIを設定し、定期的に評価・見直しを行っています。

取り組み領域	KPI指標	数値目標（年間）	備考
遊技業におけるAI予測モデル	AI予測値と実績の乖離率	±5%以内	営業会議で人間判断との差異を確認
宿泊業におけるレベニューマネジメント	RevPAR（販売可能客室収益）	前年比+10%	AIによるダイナミックプライシングの効果を確認
CRMを活用した顧客	再来訪率（リピート率）	30%以上	CRM導入後、1年以内の効果

情報セキュリティポリシー

全てのステークホルダー（社員、お客様、お取引先・地域）からの期待に応え、安心と信頼を頂くため、情報セキュリティポリシーを以下の通り定め、これを実行し、かつ、維持することを宣言します。



セキュリティ対策自己宣言

- （１）当社が保護すべきは、当社が取り扱うすべての有形・無形の情報資産とします。
それら情報資産には当社の情報のみならず、お客様から預かっている情報資産も含まれます。
- （２）当社は、情報資産を不正な改ざんや漏洩、サービスの妨害から保護する責任者として
「情報セキュリティ統括責任者」を任命します。
- （３）当社は、取り扱う情報資産に応じて、最適な情報セキュリティ対策を講じるものとします。
- （４）社員は、定められた情報セキュリティ対策に準じて行動します。
万一、違反行為が認められた場合には、社内規程に定める懲罰を受けます。
- （５）当社は、個人情報保護法をはじめとする関連する法規制を遵守します。
- （６）当社情報セキュリティ対策は、「情報セキュリティ担当部門」で推進を図ります。